

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 4 区分
 【発行日】平成 23 年 2 月 3 日 (2011.2.3)

【公開番号】特開 2010-142099 (P2010-142099A)
 【公開日】平成 22 年 6 月 24 日 (2010.6.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2010-025
 【出願番号】特願 2008-336043 (P2008-336043)
 【国際特許分類】

H 0 2 N 1/10 (2006.01)

【 F I 】

H 0 2 N 1/10

【手続補正書】

【提出日】平成 22 年 11 月 15 日 (2010.11.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

静電気発電装置のコンデンサを形成する複数枚の電極板のうち、複数枚の一部の電極板を均等な位相差で花弁状に回転軸に取り付けて前記コンデンサの一方の電極（回転陰極電極板）とし、充放電回路に接続を可能とする。

残りの複数枚の電極板の表面を絶縁体膜で被覆し、陽極電極板として電氣的に並列に接続するとともに並列に並べて水槽に満たした電解質溶液に浸漬、固定させて前記コンデンサの他方の電極（陽極電極板群）とし、逆止ダイオードを経由して充放電回路に接続を可能とする。

前記回転陰極電極板を前記水槽の液面上部に回転可能に設置し、自然エネルギーまたは他のエネルギーの回転力源に連結して回転駆動させる等で、電解質溶液中と空中に渡って回転または上下運動をさせることで前記コンデンサの接続構成を変化させ、よって前記コンデンサの合成静電容量を変化させることを特徴とする。

以上から構成される静電気発電用電極板駆動装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

以下、第 1 発明の静電気発電用電極板駆動装置について説明する。

(1) 複数枚の通常の電極板 1 と表面を絶縁体膜 2 で被覆処理された複数枚の絶縁体膜被覆電極板 1' から形成されるコンデンサ C の各電極板のうち、複数枚の一部の電極板 1 (2 ~ 3 枚または 1 枚でもよい) を均等な位相差で花弁状に回転軸 3 に取り付けて陰極電極板 4 として前記コンデンサ C の一方の電極（回転陰極電極板 5）とし、スリップリング 6 を経由して入力端子 a' 及び出力端子 b' に接続する。

(2) 入力端子 a' で第 1 直流電源 V a (充電回路 7) の負極に、また、出力端子 b' で第 2 直流電源 V b (放電回路 8) の負極にそれぞれ接続を可能とする。

(3) 残りの電極板であって、この表面を比誘電率が電解質溶液 9 の成分の比誘電率より大きい絶縁体膜 2 で、かつ、 μm オーダの厚さに被覆処理された絶縁体膜被覆電極板 1'

をコンデンサCの他方の電極（陽極電極板10）とする。

（4）複数枚の陽極電極板10を電氣的に並列に接続し、スペーサ11で挟んで並列に並べて陽極電極板群12とし、水槽13に満たした電解質溶液9に浸漬、固定させる。

（5）陽極電極板群12を逆止ダイオードDa14を経由（入力端子a側にアノード、陽極電極板群12側にカソードを接続）して入力端子aに接続するとともに、逆止ダイオードDb15を経由（陽極電極板群12側にアノード、出力端子b側にカソードを接続）して出力端子bに接続する。

（6）入力端子aで第1直流電源Va（充電回路7）の正極に、また、出力端子bで第2直流電源Vb（放電回路8）の正極にそれぞれ接続を可能とする。

（7）負荷16は、出力端子b、b'間に接続を可能とする。

（8）各陰極電極板4を電解質溶液9中と空気中に渡って回転させるために、回転陰極電極板5を水槽13上部に水平に、かつ、回転軸3の下方に位置する陰極電極板4が電解質溶液9に全没する付近に回転可能な状態で設置する。回転陰極電極板5が3枚の陰極電極板4で構成される場合、2枚の電極板1が同時に電解質溶液9に接しない位置に設置する。（1枚の電極板1を上下させることでもよい。）

（9）1枚の電極板1の下部の一部分を電解質溶液9に浸漬させるとともに、上部分は回転陰極電極板5と平行になるようにして水槽13に固定させる。

（10）回転軸3に自然エネルギー又は他のエネルギーの回転力源と連結するため、水力を利用する等の回転機構17を取り付ける。

以上から構成される静電気発電用電極板駆動装置。

【手続補正3】

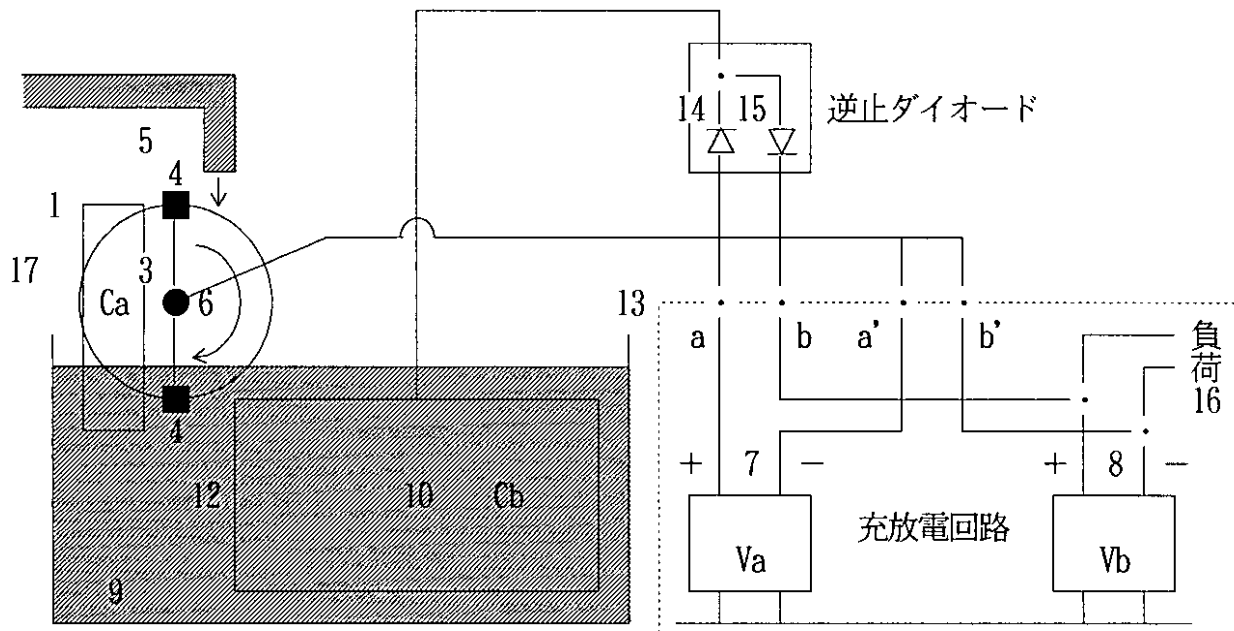
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図1】



【手続補正4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図2】

